

(学年) 第2学年、(教科・科目) 保健体育科・保健

一斉学習

(単元) 医薬品と健康

(本時のねらい)

病気やけがの治療や予防のために、日頃からさまざまな医薬品を使用しているなかで、医薬品を正しく使用し、使用の際にはどのようなことに留意すべきなのかを理解し、今後適切な行動が選択できる力を身に付けさせる。

(ICT 活用方法)

医薬品の種類や正しい使用方法をプレゼンテーションソフトで資料などを提示しながら説明する。その後、実際に自らが使用したことのある医薬品や、見たり聞いたりしたことのある医薬品の添付書を一人一台端末を用いて検索し、予め配布していた授業支援クラウドアプリに記入させ、医薬品の成分表について整理し、発表させる。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容を知る。 医薬品の種類について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 今まで聞いたこと・見たこと・使用したことのある医薬品を考えさせ、ワークシートに記入させる。 医薬品の種類を理解させる。 	
展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> 医薬品の正しい使用方法について理解する。 実際の医薬品を見て、使用方法等をまとめる。 発表 	<ul style="list-style-type: none"> 医薬品を使用する際の5つの留意点について理解させる。 正しい医薬品の使用法を理解することが、自身の健康に結びつくことに気づかせる。 添付書の見方を適宜指導する。 医薬品の種類を整理し、説明させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 添付書に書かれている使用方法などを生徒端末で入力してまとめる。

	・ 医薬品の副作用とその対策や医薬品の分類や販売との関連性について理解する。	・ 副作用の危険を減らすためにも、医薬品を正しく使用する必要があることを理解させる。	
まとめ 5分	・ 本時のまとめをする。		

(授業の様子)



モニター投影の様子



資料の説明



生徒端末に入力する作業

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

【GOOD】

- ・ ICT を活用することにより、短時間での調べ学習をすることができた。
- ・ プレゼンテーションソフトや授業支援クラウドアプリを活用することにより、より分かりやすい資料等を掲示することができ、生徒の活動状況などが把握しやすくなった。

【BAD】

- ・ 本時の POINT などは、ホワイトボード等に残すべきだった。
- ・ 回線の不具合などで、時間が足りなくなってしまった。

【NEXT】

- ・ モニターとホワイトボード等の有効活用できる板書計画を見直す。
- ・ コラボレーションプラットフォームやアンケートシステムを活用した授業展開を検討する。